

令和6年度 秋期
システム監査技術者試験
午後Ⅱ 問題

試験時間

14:30～16:30（2時間）

注意事項

1. 試験開始及び終了は、監督員の時計が基準です。監督員の指示に従ってください。
2. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。
3. 答案用紙への受験番号などの記入は、試験開始の合図があってから始めてください。
4. 問題は、次の表に従って解答してください。

問題番号	問1，問2
選択方法	1問選択

5. 答案用紙の記入に当たっては、次の指示に従ってください。
 - (1) B又はHBの黒鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
 - (2) 受験番号欄に受験番号を、生年月日欄に受験票の生年月日を記入してください。
正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。生年月日欄については、受験票の生年月日を訂正した場合でも、訂正前の生年月日を記入してください。
 - (3) 選択した問題については、次の例に従って、選択欄の問題番号を○印で囲んでください。○印がない場合は、採点されません。2問とも○印で囲んだ場合は、はじめの1問について採点します。

〔問2を選択した場合の例〕

選 択 欄	問1	問2
	1問選択	

注意事項は問題冊子の裏表紙に続きます。
こちら側から裏返して、必ず読んでください。

“あなたが携わったシステム監査，システム利用又はシステム開発・運用業務の概要”の
記入方法

あなたの所属部門と，あなたが担当した主なシステム監査，システム利用又はシステム開発・運用業務の概要について記入してください。

質問項目①，③，④，⑥～⑪は，記入項目の中から該当する番号又は記号を○印で囲み，必要な場合は（ ）内にも必要な事項を記入してください。複数ある場合は，該当するものを全て○印で囲んでください。

質問項目②は，あなたが担当した主なシステム監査，システム利用又はシステム開発・運用業務の名称を記入してください。

質問項目⑤は，（ ）内に必要な事項を記入してください。

問1 IT投資のガバナンスに関する監査について

企業などの組織においては、クラウドサービス、AIなどの利活用が急速に進む一方で、大規模災害、サイバー攻撃などのリスクへの対応が求められている。このような状況の下、IT投資の対象、優先順位などに関する意思決定は、組織の価値向上及び事業継続に重大な影響を及ぼすことから、IT投資のガバナンスの重要性が高まっている。

組織のIT投資所管部門は、このような背景を踏まえて、IT投資の管理プロセスを整備、運用することが重要である。例えば、事業戦略及びIT戦略で設定された目標を達成するようIT投資計画を策定し、その計画に基づいて、ITに関する開発プロジェクト、基盤構築、人材育成などに投資する。さらに、IT投資に対する効果を評価し、評価結果に応じてIT投資計画を見直す。

また、IT投資所管部門は、組織のガバナンス体制で求められる役割を遂行し、取締役会などにおけるIT投資に関する意思決定に貢献することが重要になる。例えば、IT投資所管部門は、取締役会などに対して、IT投資の実施状況を適時、適切に報告する。さらに、取締役会などの指示に従って、IT投資計画を見直し、取締役会などの承認を得る。

システム監査人は、IT投資のガバナンスに関する監査を計画する場合、このような状況を踏まえて、IT投資の管理プロセス及びガバナンス体制に関連付けて、監査の着眼点及び入手すべき監査証拠などを検討する必要がある。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが関係する組織におけるIT投資の概要及びガバナンス体制について、800字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べたIT投資のガバナンスに関して、監査の着眼点及び入手すべき監査証拠について、IT投資の管理プロセスに関連付けて、700字以上1,400字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問アで述べたIT投資のガバナンスに関して、監査の着眼点及び入手すべき監査証拠について、IT投資のガバナンス体制に関連付けて、700字以上1,400字以内で具体的に述べよ。

[メモ用紙]

問2 情報システムの外部サービスを活用した運用プロセスの監査について

ビジネスの複雑化，テクノロジーの高度化などに伴って，情報システムの運用プロセスに IaaS, SaaS, AMO (Application Management Outsourcing) などの外部サービスを活用する事例が増えている。これらのサービスを活用することに伴う最終的な責任は委託元であり，委託元は外部サービスを含めた業務全体の IT リスクを分析，評価し，対応策を適切に策定し，運用する役割と責任がある。

委託元は，外部サービスを活用した運用プロセスにおける IT リスクへの対応策を漏れなく策定できるように委託先との責任分界点を明確にし，委託先が実施する対応策を十分に評価した上で，自らが実施する対応策を講じる必要がある。また，委託元は，外部サービスの業務への影響や IT リスクの大きさに応じて，委託先の責任範囲であっても自らが実施する対応策を講じるかどうか検討する。さらに，委託元は，例えば，定期報告会の開催，現地調査，第三者による評価・検証報告書の活用などによって，委託先での対応策の実施状況を継続的にモニタリングする必要がある。モニタリングの結果，必要であれば委託元の対応策の見直しを行うことが求められる。

システム監査人は，情報システムの外部サービスを活用した運用プロセスにおいて，委託元で IT リスクの分析が行われ，委託元が実施すべき対応策が適切に実施されていることを確かめる必要がある。また，委託先が実施すべき対応策については，委託元による委託先へのモニタリングが適切に実施されていることを確かめることが重要である。

あなたの経験と考えに基づいて，設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが関係する情報システムの概要，並びに運用プロセスにおける外部サービスの位置づけ及びその内容について，800 字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べた情報システムの外部サービスを活用した運用プロセスの監査計画において，大きいと判断した IT リスク及びこれに対する委託元と委託先の対応策について，700 字以上 1,400 字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べた IT リスクへの対応策に漏れがないかどうか，及び委託元において適切に実施又はモニタリングされているかどうかを確かめるための監査手続を，700 字以上 1,400 字以内で具体的に述べよ。

[ヌ 毛 用 紙]

6. 解答に当たっては、次の指示に従ってください。指示に従わない場合は、評価を下げる場合があります。

(1) 問題文の趣旨に沿って解答してください。

(2) 解答欄は、“あなたが携わったシステム監査，システム利用又はシステム開発・運用業務の概要”と“本文”に分かれています。“あなたが携わったシステム監査，システム利用又はシステム開発・運用業務の概要”は、3 ページの記入方法に従って、全項目について記入してください。項目に答えていない場合、又は、項目間に矛盾があるなど適切に答えていない場合は減点されます。

(3) “本文”は、設問ごとに次の解答字数に従って、それぞれ指定された解答欄に記述してください。

・設問ア：800 字以内

・設問イ：700 字以上 1,400 字以内

・設問ウ：700 字以上 1,400 字以内

(4) 解答は、丁寧な字ではっきりと書いてください。

7. 退室可能時間中に退室する場合は、手を挙げて監督員に合図し、答案用紙が回収されてから静かに退室してください。

退室可能時間	15:10 ～ 16:20
--------	---------------

8. 問題に関する質問にはお答えできません。文意どおり解釈してください。

9. 問題冊子の余白などは、適宜利用して構いません。ただし、問題冊子を切り離して利用することはできません。

10. 試験時間中、机の上に置けるものは、次のものに限ります。

なお、会場での貸出しは行っていません。

受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル（B 又は HB）、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計（時計型ウェアラブル端末は除く。アラームなど時計以外の機能は使用不可）、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

これら以外は机の上に置けません。使用もできません。

11. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ることができます。

12. 答案用紙は、いかなる場合でも提出してください。回収時に提出しない場合は、採点されません。

13. 試験時間中にトイレへ行きたくなったり、気分が悪くなったりした場合は、手を挙げて監督員に合図してください。

試験問題に記載されている会社名又は製品名は、それぞれ各社又は各組織の商標又は登録商標です。

なお、試験問題では、TM 及び [®] を明記していません。

©2024 独立行政法人情報処理推進機構